

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	静岡県立大学 上野 雄史
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	会計研究を行っている研究者として日本リスク研究学会に貢献をしていきます。会計はリスクマネジメントの分野では深いかかわりがある一方で、日本リスク研究学会の中で触れられることはそれほど多くありません。歴史のみでも会計は経済発展のあらゆる場面でかかわりがあり、今、問題となっている原発や震災復興の場面でもかかわりがあります。会計は貨幣測定、情報開示という点で、利害関係者間を繋ぐハブ機能を持っています。私もその学問分野の特性と同じく、学会においてハブ的な機能を果たしていきます。また私自身は、日本保険学会、日本行動計量学会などの日本リスク研究学会とも縁の深い学会にも所属していますので、こうした学会と繋ぐ役割も担っていきます。よろしくお願いたします。
② 本学会における 活動歴	<ul style="list-style-type: none"> ・日本リスク研究学会タスク・グループ (リスク教育部会・リスクコミュニケーション部会) (2014年6月より) ・第30回日本リスク研究学会大会実行委員 (2017年度) ・第30回日本リスク研究学会・大会優秀発表賞 (2017年度)
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	博士 (商学、2007年、関西学院大学)。年金、保険、リスク、倫理の視点から会計研究を行う。本学会で学会賞の他に、2011年、日本年金学会創立30周年記念賞佳作、2012年、生命保険文化センター優秀論文賞を授与。

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者名	上野 雄史
② 推薦者の 姓名と所属	前田 恭伸 静岡大学大学院工学領域事業開発マネジメント系列
③ 推薦理由 (400 字程度)	上野雄史先生は、会計学をベースに活発にリスク研究をされています。研究だけではなく、昨年の年次大会では大会実行委員会のメンバーとして大会の成功に貢献されました。また2014年からリスク教育・リスクコミュニケーションタスクグループで精力的に活動されています。また他学会でも活発に活動されていて、2011年には日本年金学会から日本年金学会創立30周年記念賞佳作を授与され、2012年には生命保険文化センターから、生命保険文化センター優秀論文賞を授与されました。特に財務会計の分野で多くの業績を挙げておられますが、この分野は本学会の中では弱い部分です。こういった立場から学会の運営にご発言いただければ重要な貢献になるのではないかと思います。このような理由から上野雄史先生を理事として推薦いたします。